## 関との間の交換公文

## (略称) 欧州宇宙機関との赤外線宇宙天文台衛星計画協力取極

十 九 月 二 十 一 月 二 十 一 日 日	日本	5	4	3	2	1	E S						
	側書簡	有効	協議	協力の	実施	協力の	A側書籍	目					
<ul><li>一次のでは、大年、九月二十一日、効力</li><li>一次のでは、大年、九月二十一日、効力</li><li>一次のでは、大年、九月二十一日、効力</li><li>一次のでは、大年、九月二十一日、パリア成、大年、九月二十一日、パリア成、大年、九月二十一日、パリア成</li></ul>					取極		間	次					
S改正		延長及び											
平成 六年 九月二十一日 効力 平成 六年 九月二十一日 効力 平成 六年 九月二十一日 効力													
平成 六年 九月二十一日 効力 平成 六年 九月二十一日 効力 平成 六年 九月二十一日 効力 (外務)													
平成 六年 九月二十一日 効力平成 六年 九月二十一日 効力 (外務)													
平成 六年 九月二十一日 効力平成 六年 九月二十一日 効力													
平成 六年 九月二十一日 効力平成 六年 九月二十一日 効力 (外務)													
平成 六年 九月二十一日 効力 平成 六年 十一月十八日 告示 (外務)													
学成       六年       九月二十一日       効力         学成       六年       九月二十一日       効力         (外務       一月十八日       5										-	<del></del>		
<ul><li>六年 九月二十一日 効力</li><li>六年 十一月十八日 告示</li><li>(外務</li></ul>										).	<del> </del>	平成	半成
九月二十一日 効力 大月二十一日 効力 (外務										- 3	六年	六年	六年
月十八日 告示 がり 発						:				-	<del> </del> -	九月	九月
日日日 ( 外 告 効 パ 務 示 力 リ											月十八日	<del>-</del>	· +·
- : : : : : : :									, , :	_			
当	三〇六三				二六〇二					榜省生!	下	効力発生	パリで
	六〇三	六〇::	六〇二	六〇二	六〇.	六〇	六〇一	ページ	; ; -	ぶ第六:			
(外務省告示第六八三号) (外務省告示第六八三号) (外務省告示第六八三号) (外務省告示第六八三号) (外務省告示第六八三号)									- - -	八三号)			

(
天文台復見
部計画に係る
の振力に関す
・る日本国語
が府と欧州宇
・宙機関との
一間の交換の
(文)

(ESA側書簡

: :

書 E 簡 S 側

に関しESAの代表者と日本国政府の代表者との間で行われた最近の討議に言及する光栄を有します。という。)と日本国文部省(以下「文部省」という。)との間の協力(以下「協力」という。)を行うための条件書簡をもって啓上いたします。本官は、赤外線宇宙天文台衛星計画に係る欧州宇宙機関(以下「ESA」

る光栄を有します。 と総称する。)との間に引き続いて存在する相互に有益な関係を考慮し、ESAに代わって次の取極を提案すと総称する。)との間に引き続いて存在する相互に有益な関係を考慮し、ESAと日本国政府(以下「両締約者」本官は、更に、宇宙空間の平和的な探査及び利用の分野においてESAと日本国政府(以下「両締約者」

(以下「宇宙研」という。)との間で実施される。 (以下「宇宙研」という。)との間で実施される。

施力の実

実施取極

は、赤外線宇宙天文台を用いた観測活動及びこれにより収集されたデータの処理について定める。2.協力の詳細な条件を定めるため、ESA及び宇宙研は実施取決めを締結することとし、当該実施取決め

2

する。
する。

件協力の条

協

議

することができる。 ・ 正SA及び宇宙研は、協力から又はそれに関連して生ずるいかなる問題についても協議を通じて解決 ・ 接続議を通じて解決できない場合には、両締約者の間の協議が行われる。問題が前記の協議を通じて解決 ・ 日SA及び宇宙研は、協力から又はそれに関連して生ずるいかなる問題についても協議する。問題が当

## (ESA's Note)

Paris, September 21, 1994

cellency,

I have the honour to refer to recent discussions between the representatives of the European Space Agency and of the Government of Japan concerning the terms and conditions whereby cooperation on the Infrared Space Observatory Satellite Program (hereinafter referred to as "Cooperation") will be undertaken between the European Space Agency (hereinafter referred to as "ESA") and the Monbusho of Japan (hereinafter referred to as "Monbusho").

In consideration of the continuing mutually beneficial relationship between ESA and the Government of Japan (hereinafter jointly referred to as "the Parties") in the field of peaceful exploration and use of outer space, I have further the honour to propose on behalf of ESA the following arrangements:

- Cooperation will be executed by ESA, on the one hand, and by the Institute of Space and Astronautical Science (hereinafter referred to as "ISAS") as the executing agency designated by Monbusho, on the other hand.
- With a view to settling forth detailed terms and conditions for Cooperation, ESA and ISAS will conclude implementing arrangements, which will provide for the conduct of observations with the Infrared Space Observatory and processing of data thereby gathered.
- Cooperation will be subject to the availability of appropriated funds and to the laws and regulations applicable to ESA and in Japan.

4.

ω

ESA and ISAS will consult with each other in respect of any matter that may arise from or in connection with Cooperation. If the matter cannot be resolved through such consultation, consultations will be held between the Parties. If the matter cannot be resolved through consultations mentioned above, the Parties may submit that issue to an agreed form of

延長又は改正することができる。 ちんことにより終了させない限り、五年間効力を有する。この取極は、両締約者の間の相互の合意によりすることにより終了させない限り、五年間効力を有する。この取極は、一方の締約者が他方の締約者に対してこの取極を終了させる意思を六箇月前に書面で通告5 この取極は、一方の締約者が他方の締約者に対してこの取極を終了させる意思を六箇月前に書面で通告

実する光栄を有します。 の間の合意を構成するものとみなし、その合意が関下の返簡の目付の日に効力を生ずるものとすることを提め間の合意を構成するものとみなし、その合意が関下の返簡の目付の日に効力を生ずるものとすることを提

本官は、以上を申し進めるに際し、ここに関下に向かって敏意を表します。 千九百九十四年九月三十一日にパリで

欧州宇宙機関長官 J・M・ルトン

dispute resolution such as conciliation, mediation or  $% \left( n\right) =\left( n\right) +\left( n$ 

The present arrangements will remain in force for five years, unless terminated by either Party upon six months' written notice of its intention to terminate them. These arrangements may be extended or amended by mutual agreement of the Parties.

5

I have further the honour to propose that this Note and Your Excellency's Note in reply confirming on behalf of the Government of Japan the foregoing arrangements shall be regarded as constituting an agreement between ESA and the Government of Japan, which will enter into force on the date of Your Excellency's reply.

Accept, Excellency, the assurances of  $\boldsymbol{m}\boldsymbol{y}$  highest consideration.

(Signed) J.M. Luton
Director General
European Space Agency

His Excellency Mr. Koichiro Matsuura Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Japan

日本国特命全権大使 松浦晃一郎閣下

		<u>や</u> 側 書	
<b>改四宇宙機划長官 J・M・ルトン殿</b>	日本国特命全權大使 松浦晃一郎	(ESA側書簡) (ESA側書簡) (ESA側書簡) 本使は、更に、日本国政府に代わって前記の取極を確認するとともに、貴官の書簡及びこの返簡が日本国政府とESAとの間の合意を構成するものとみなし、その合意がこの返簡の日付の日に効力を生ずることに政府とESAとの間の合意を構成するものとみなし、その合意がこの返簡の日付の日に効力を生ずることに政治である気候を有します。 本使は、以上を申し進めるに際し、ここに貴官に向かって敬意を表します。 - 千九百九十四年五月二十一日にパリで	(日本側書館)
Mr. J.M. Luton Director General European Space Agency	(Signed) Koichiro Matsuura Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Japan	Paris, September 21, 1994  Sir,  I have the honour to acknowledge the receipt of your hote of today's date which reads as follows:  "(ESA's Note)"  I have further the honour to confirm on behalf of the Government of Japan the foregoing arrangements and to agree that your Note and this Note in reply shall be regarded as constituting an agreement between the Government of Japan and the European Space Agency, which will enter into force on the date of this reply.  Accept, Sir, the assurances of my high consideration.	(Japanese Note)

(参考)

この取極は、赤外線宇宙天文台衛星計画に係る欧州宇宙機関と日本国文部省との間の協力を行う

ための条件について定めたものである。